

けいやく  
契約

やくそく  
約束

みななで集まって話すときには、どんな約束をしま  
すか。考えたことをつぎの空白に書いて下さい。

けいやく  
契約

せいしょ  
聖書において、かみ  
神さまとひととがむす  
ぶやくそく  
結ぶ約束をけいやく  
契約と

いいます。ふる  
古い契約を書いたものをきゅうやくせいしょ  
旧約聖書、あた  
ら

けいやく  
契約を書いたものをしんやくせいしょ  
新約聖書といひます。

どうして、まえにけいやく  
契約があつたのに、もういちど  
あた  
ら

しいけいやく  
契約があるのでしょうか。

かみ  
神さまは、イスラエルというたみ  
民がエジプトでくる

でいたときに、かれらをたす  
助けだされました。そして、

しないでけいやく  
契約をむす  
びました。かみ  
神さまはイスラエルのたみ  
民

を守つてくださいますが、イスラエルのひと  
たちはかみ  
神さ

まのいいつけを守りますというやくそく  
約束をしました。

でも、イスラエルの人たちは、契約を守る力がありませんでした。そのため、自分たちの国を手ばなすことになりました。でも、神さまは決して見捨てられないという信仰を持ち続けました。

そこで、神さまは、神の子であるイエスさまによって、もう一度契約を結ばれました。これが新しい契約です。

ミサのなかで、司祭はつぎのように唱えます。「これは、わたしの血の杯。あなたがたと多くのひとのために流されて、罪のゆるしとなる、新しい永遠の契約の血である。これをわたしの記念として行いな

さい」。

新しく契約を結んだ民は、キリスト者を呼ばれるようになりました。わたしたちは神さまの民であり、イエスさまがいつも私たちをささえてくださいます。

